



産業
Industry



学び
Learning



暮らし
Living



自然
Nature

建築で都市を耕す

YNU DIPLOMA — 2023



福祉
Welfare



横浜国立大学 都市科学部 建築学科

卒業設計展 2023 — 建築で都市を耕す

2023/3/17[金] → 3/19[日]

会場: BankART Station

開催日: 2023年3月17日(金), 18日(土), 19日(日)

開催時間: 11:00 ~ 19:00

同時開催: 円錐会初出展05

会場: BankART Station (〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい5-1 新高島駅地下1F)

主催: 横浜国立大学都市科学部建築学科卒業生

Twitter: ynuarchi.diploma2023

協力: ※円錐会

Instagram: ynuarchi_diploma2023

※横浜国立大学建築学教室・Y-GSA(都市イノベーション学府建築都市デザインコース)に関わる設計・意匠系を中心とするメンバーで構成されたOB会



YNUARCHI_DIPLOMA2023

建築で都市を耕す YNU DIPLOMA 2023

横浜国立大学建築学科の学びは、まちの核を捉えることです。その手段として建築があり、建築未満のものから建築以上の土木的なものを扱いながらまちの生命を生み出します。

テーマの中心にある耕す「cultivate」の語源はラテン語の「colore」であり、土を耕すほか、心を耕す・人間関係を耕す・学びを耕すという意味が存在します。そして現在では、英語の文化「culture」という言葉へと変化していきました。

卒業設計の作品を通して、建築が建つことが目的ではなく、手段として都市を耕しながら新たな文化を作り出す、生き生きとした学生の作品をテーマに沿って分類し、展示します。

[出展作品]

- ・加治屋 千夏 [水のかたち、人のくらし。 -堤防をつくったまちの再考-]
- ・加藤 滯 [現代・江戸町屋 -建築から都市に表露する-]
- ・川上 卓音 [溜まり 風景 共有する -ため池を中心とした町の再構築-]
- ・神田 柚花 [彼女が彼女らしく生きられるまち -「歩く」から変える福祉の捉え方-]
- ・グラシア カロライン イグナチウス [スラムから現代的な村へ -伝統的な暮らしを引き継ぎ、スラムを変えていく-]
- ・境野 廉 [オレンジリー空間による新しい公共 -透明化された人影見える町-]
- ・櫻井 一裕 [大屋根が町の体験を繋ぐ学校 -食と農で繋がる丘の共同体-]
- ・昌子 叶 [日本橋現代都市]
- ・富田 優紀 [暮らしの丘 -住宅街における地面と家の関係を再構築する。-]
- ・中山 創 [「みち空間」でつながる街の暮らし -ヒルサイドテラスに学ぶ都市のオープンスペース-]
- ・西山 陸斗 [歩き、学び、育つ -通学路に広がる途中の学び場-]
- ・藤田 彩乃 [生涯暮らし続けられるまち -商店街と湧水によってしみわたる暮らし-]
- ・柳澤 美佳 [余暇(スコレー)のある街 -地形と暮らしの隙間から広がる新しい日常風景-]
- ・吉池 柚乃 [大地の変形 -西湘バイパスが織りなす、海からまちへの遷移帯-]
- ・吉澤 歩 [都市の"変わらない風景"をつくる -すべてのモノを受け入れる運河-]
- ・渡邊 海斗 [代官山アーカイブ -交流が創る住・商共存のまち-]
- ・梁 丞鎬 [大きな都市空間になる商店街 -全てを受け入れ、混ざり合う-]
- ・姚 詩雨 [身近になる林業 -森との暮らしをもう一度考える場所-]
- ・河野 奏太 [登り眺め、琵琶湖を想う -辻に続く共同体の風景をつくる-]
- ・研谷 航輝 [灘の集積場 -瀬戸内海と共にある人々の場を作る-]

[開催日]

2023/3/17[金]-3/19[日]

11:00~19:00

[イベント]

3/18[土] PM

学生と建築家によるトークセッションを開催

[会場]

BankART Station

〒220-0012

神奈川県横浜市西区みなとみらい5-1
新高島駅地下1F



[同時開催]

円錐会初出展05

入場無料

展示会場でのイベント開催情報は、Twitter・Instagramにて公開しております。下記QRコードにてご確認ください。

Twitter : ynuarchi.diploma2023

Instagram : ynuarchi_diploma2023

